

- このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
- この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意

施工、使用 (操作・保守・点検) の前に必ずこの説明書と分電盤・インターホンに付属の説明書をすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を招く可能性が想定される場合。

注意 取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告

厳守 ●不良工事は感電や火災の原因となります。工事や修理は施工店様にご依頼いただき、本説明書を提示してください。

注意

厳守 ●電気が自動的にON/OFFした場合、危険な状態になる電気機器をコントロール回路には接続しないでください。

機能

1 電気の使いすぎをお知らせ

- ◆電気の使用量が設定電流値を超えると、省エネコントローラに接続された「インターホン」から電気の使いすぎをお知らせします。
- ◆「インターホン」からのお知らせ間隔は、電気の使用量が多くなると短くなります。

2 電気の使用量をレベル表示

- ◆電気の使用量を常に監視し、負荷率 (設定電流値に対する比率 (%)) を外部へデータ出力します。
- ◆データ出力により省エネコントローラに接続された「インターホン」で電気の使用量をレベル表示します。

3 ピークカット動作・復帰動作

- ◆ピークカット動作
電気の使用量を検知して、その使用量が設定電流値の110% (電流制限器なしの場合は100%) を超える状態が続くとコントロール回路に接続された電気機器を自動的にOFFし、全停電になることを防ぎます。
- ◆復帰動作
電気の使用量が復帰電流値以下の状態を約60秒間継続すると、ピークカット動作によりOFFした電気機器は自動的にONします。

注) 3項はコントロール回路に電気機器を接続している場合のみ動作します。

電気機器の選定について

- コントロール回路に接続する電気機器は施工店様とご相談の上、選定してください。(電気の使用量が大きい電気機器を選定してください)

コントロール回路に接続できる電気機器

日本電機工業規格 JEM 1427 「ルームエアコンHA端子」に適合した JEMA 標準 HA 端子-A または HA JEMA の表示を有する電気機器のみ使用できます。

動作説明

負荷率 I (%) (*1)		動作	
電流制限器あり	電流制限器なし	警報音	ピークカット動作
I ≤ 20	I ≤ 20	なし	なし
20 < I ≤ 80	20 < I ≤ 80	なし	なし
80 < I ≤ 100	80 < I ≤ 90	なし	なし
100 < I ≤ 110	90 < I ≤ 100	3分ごと	なし
110 < I ≤ 120	100 < I ≤ 120	10秒ごと	45秒でOFF
120 < I ≤ 140	120 < I ≤ 140	5秒ごと	15秒でOFF
140 < I	140 < I	5秒ごと	2秒でOFF

*1 負荷率とは、検出された電流値を設定電流値に対する比率 (%) で表したものをいいます。

注) 電気を使いすぎている場合、コントロール回路に接続された電気機器はONしてもすぐにOFFします。

ピークカット動作・復帰動作

- ピークカット動作は次の順序で行われます。

- ①負荷率が設定電流値の110% (電流制限器なしの場合は100%) を超えるとCH1の電気機器を自動的にOFFします。
- ②負荷率が設定電流値の100% (電流制限器なしの場合は90%) 以下になるまで、CH2→CH3→CH4の順に電気機器を自動的にOFFします。

- 復帰動作は次の順序で行われます。

- ①負荷率が復帰電流値以下を約60秒間継続するとCH4 (または最後にピークカット動作した) 電気機器を自動的にONします。
- ②CH4の電気機器が自動的にONした後、負荷率が定格電流の100% (電流制限器なしの場合は90%) 以下の場合、CH3→CH2→CH1の順に電気機器を自動的にONします。

注) ピークカット動作は「CH1→CH2→CH3→CH4」、復帰動作は「CH4→CH3→CH2→CH1」の順に動作します。電気機器を接続していないCHや運転していないCHは、復帰動作をスキップする場合があります。

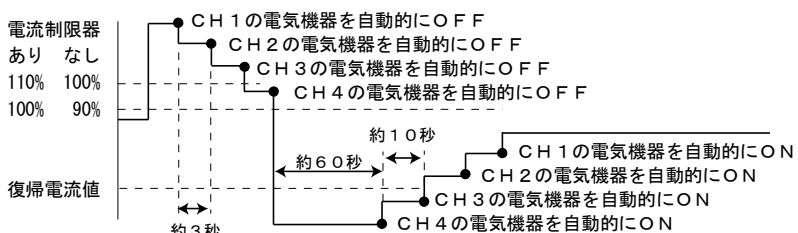
復帰電流値

設定電流値	復帰電流値	
	電流制限器あり	なし
20A	10A	8A
30A	21A	18A
40A	32A	28A
50A	42A	38A
60A	52A	48A
75A	63A	63A
100A	88A	88A

注) 設定電流スイッチが「●」位置の場合は、20A設定の動作をします。

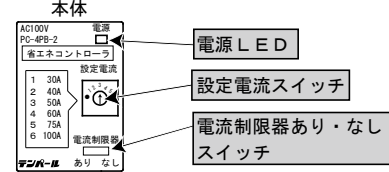
◆ピークカット動作、復帰動作のフローチャート例

(コントロール対象の回路「CH1・CH2・CH3・CH4」がすべて接続されており、「CH1・CH2・CH3・CH4」がすべてピークカット動作、復帰動作を行った場合のフローチャート)



使用上のご注意

- 契約電流値変更の際は、設定電流値を再設定してください。
- 設定電流スイッチが設定電流値以外の位置 (「●」位置または設定値の中間位置で止まっている) に設定された場合、電源LEDがゆっくりと点滅し、20A設定の動作をします。



◆契約電流値とは?

- ・電流制限器ありの場合: 電流制限器 (スマートメーターの電流制限機能) の定格電流値
- ・電流制限器なしの場合: 主幹ブレーカの定格電流値

◆設定電流値に関する注意事項

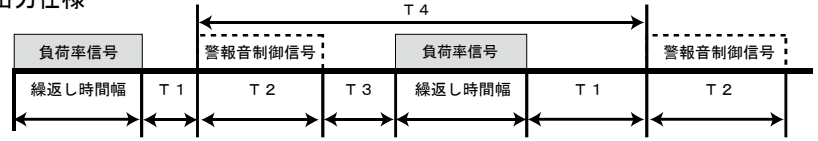
設定電流値を契約電流値に合わせた場合において、電流制限器 (スマートメーターの電流制限機能) や主幹ブレーカの動作特性によっては、警報音によるお知らせ、ピークカット動作の前に全停電をする場合があります。その場合には、設定電流値を契約電流値より低い電流値に設定してご使用ください。

外部接点出力仕様

●動作詳細仕様

警報音制御信号および負荷率 (%) 信号を外部出力端子から以下の仕様で接点出力します。
 ※負荷率とは、検出された電流値を設定電流値に対する比率 (%) で表したものをいいます。

●基本出力仕様



T1	約0.5秒	
	電流制限器あり	電流制限器なし
T2	約2秒	
T3	約0.1秒	
T4	負荷率 I (%)	
	100 < I ≤ 110	90 < I ≤ 100
	110 < I ≤ 120	100 < I ≤ 120
	120 < I	120 < I
	警報音制御信号間隔	
	180秒	10秒
	5秒	
	負荷率信号および繰返し時間幅	
	電流制限器あり	電流制限器なし
	I=0	I=0
	0 < I ≤ 10	0 < I ≤ 10
	10 < I ≤ 20	10 < I ≤ 20
20 < I ≤ 30	20 < I ≤ 30	
30 < I ≤ 40	30 < I ≤ 40	
40 < I ≤ 50	40 < I ≤ 50	
50 < I ≤ 60	50 < I ≤ 60	
60 < I ≤ 70	60 < I ≤ 70	
70 < I ≤ 80	70 < I ≤ 80	
80 < I ≤ 90	80 < I ≤ 90	
90 < I ≤ 100	-	
100 < I ≤ 110	90 < I ≤ 100	
110 < I ≤ 120	100 < I ≤ 120	
120 < I	120 < I	

仕様

- 本体 (PC-4PB-2)

項目	仕様
定格設定電流	30, 40, 50, 60, 75, 100 設定電流スイッチで切替可能
電気方式	単相2線式/単相3線式
電源電圧	AC100V (50/60Hz)
電流検出方式	電流制限器あり L1相とL2相のベクトル合成電流を検出 電流制限器なし L1相とL2相の各電流値のいずれか大きい値を検出
制御回路数	4回路
使用温度範囲	-10°C ~ +50°C
使用湿度範囲	90%RH以下 (ただし、結露のない場合)

便利な使い方

設定電流値を契約電流値より低い設定値で使用すると、早めに警報音でお知らせし、ピークカット動作をします。「省エネ意識向上」や「契約電流値の見直し」にお役立てください。

故障かな?と思ったとき

修理を依頼される前に、もう一度次の点をお調べください。

現象	原因	処置
本体に接続された「インターホン」が正常に動作しない。	◆誤配線の可能性があります。 ◆「インターホン」が故障している可能性があります。	・施工店様にお問い合わせください。 ・「インターホン」のメーカー様にお問い合わせください。
電源LEDが消灯している。	◆本体が故障している可能性があります。	・施工店様にお問い合わせください。
コントロール対象の回路に接続されている電気機器が使用できない。	◆コントロール対象の回路を制御中か、電気を使いすぎているおそれがあります。電気を使いすぎている場合も、コントロール対象の回路は制御されて使用できません。 ◆本体の故障が誤配線のおそれがあります。	・使用中の電気機器のスイッチをOFFして電気の使用量を減らしてください。動作の詳細については動作説明をご参照ください。 ・施工店様にお問い合わせください。
繰り返し、ピークカット動作する。	◆定格電流値に近い電気が使用された状態が続いています。 ◆設定電流値が20A設定 (電源LEDがゆっくりと点滅) になっているおそれがあります。	・使用中の電気機器のスイッチをOFFして電気の使用量を減らしてください。 ・契約電流値の見直しが必要な場合があります。電力会社にご相談ください。 ・本体の電源LEDを確認してください。ゆっくり点滅している場合は、20A設定になっています。本体の設定電流値と契約電流値が一致するように設定してください。
電流制限器 (スマートメーターの電流制限機能) または主幹ブレーカが切れ、全停電になる。	◆本体がすべてのコントロール対象の回路に接続された電気機器の運転を停止しても、契約電流値以上の電気をを使用しています。	・使用している電気機器のスイッチをOFFした後、電流制限器または主幹ブレーカのスイッチを再度ONしてください。 ・スマートメーターの場合は、数秒後に自動復帰します。復帰しない場合は、電力会社にお問い合わせください。
電流制限器 (スマートメーターの電流制限機能) が切れ、全停電になる。	◆電流制限器あり・なしスイッチが「なし」になっているおそれがあります。	・本体の設定電流値と契約電流値が一致するように設定してください。 ・電流制限器あり・なしスイッチを「あり」に設定してください。
警報音やピークカット動作の前にスマートメーターの電流制限機能が切れ、全停電になる。	◆スマートメーターが本体より早く動作しているおそれがあります。	・設定電流値を契約電流値より低い電流値に設定してご使用ください。

「過電流警報機能付インターホン」を本文中では「インターホン」と記載しています。商品および取扱説明書の内容についてご不明な点がございましたら、弊社技術問い合わせ窓口までお問い合わせください。

広島市南区大州3-1-42 テンパール工業株式会社 技術問い合わせ窓口
 http://www.tempearl.co.jp/ TEL (082) 287-9110 FAX (082) 283-4534
 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (弊社営業日)

施工説明書（保管用）

- この施工説明書、取扱説明書と住宅用分電盤に付属の説明書、インターホンの取扱説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
 - 施工完了後は所定欄に施工店名を記入の上、この説明書をご使用者様へお渡ください。
- ※裏面の「安全上のご注意」もあわせてお読みください。

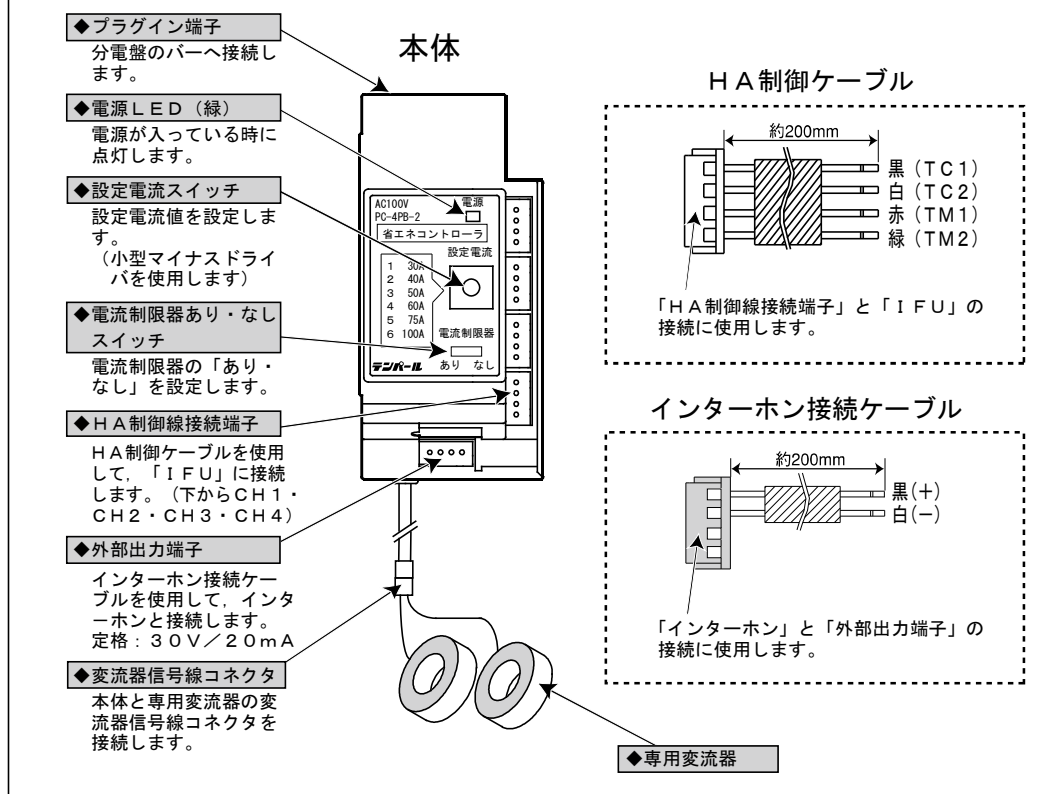
警告

- 施工・点検時には上位遮断器を切「O」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。感電のおそれがあります。

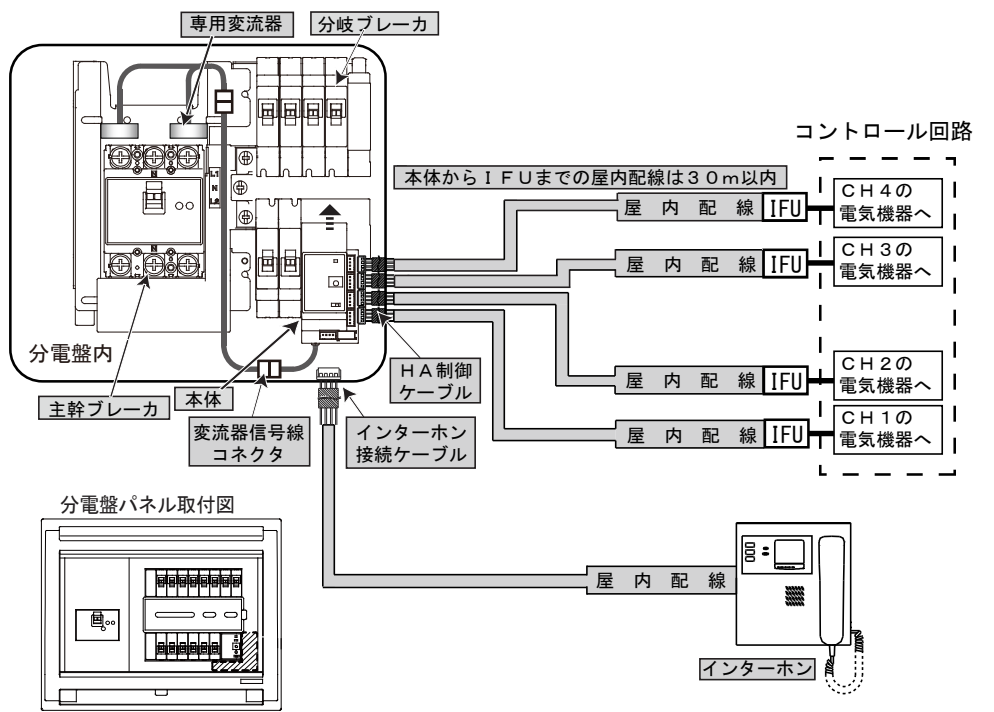
注意

- 電源はAC100V専用です。AC200Vで使用しないでください。
- 高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動衝撃など異常な環境に設置しないでください。感電・火災・不動作のおそれがあります。
- テンパール工業製住宅用分電盤パネルテクト専用（横一列タイプを除く）です。テンパール工業製の他の分電盤、他社製分電盤には取り付けできません。無理に取り付けた場合、火災のおそれがあります。
- プラグイン端子はバーへ確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。
- 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- ゴミ・コンクリート粉・鉄粉などの異物および雨水などが本製品内部に入らないように施工してください。感電・火災・不動作のおそれがあります。
- 電気が自動的にON/OFFした場合に危険な状態になる電気機器は、コントロール回路に接続しないでください。

各部の名称とはたらき



構成



■同梱品

- 本体（PC-4PB-2）・・・1台
 - HA制御ケーブル（PC-4CW）・・・1本
 - インターホン接続ケーブル（PC-4CB4）・・・1本
 - 専用変流器・・・1セット
 - 注意銘板・・・1枚
- ※CH2以降の電気機器を本体に接続する場合には、電気機器の台数分のHA制御ケーブルを別途ご購入ください。

■市販品

次の部品につきましては、市販品をご使用ください。

●屋内配線

- ・本体からインターホンへの接続電線
推奨：2心AE線（φ0.9）
- ・本体からIFUへの接続電線
推奨：4心VCTF 0.3~0.5mm²程度
使用可：4心AE線、4心CPEV線など

●IFU

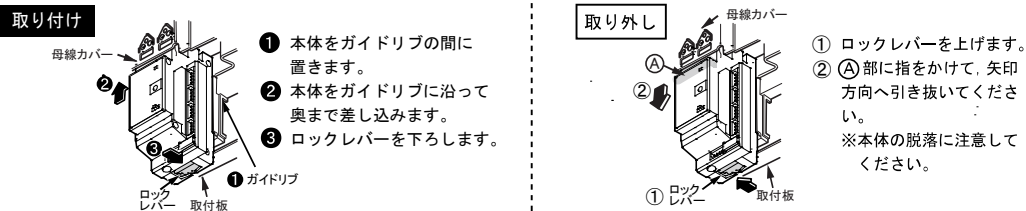
- 東芝ライテック NDG8701 (WW)
 - パナソニック WTF47204WK
 - WTF47214WK
- ※その他JEM-A規格に準ずるIFUが使用可能です。動作確認を行ってご使用ください。

注) 屋内配線は30m以内で行ってください。

- ・付属ケーブルと屋内配線の接続は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。
- ・電気を過ぎた場合、CH1→CH2→CH3→CH4の順に電気機器を停止します。
- ・本体と専用変流器の変流器信号線コネクタが、接続されていることを確認してください。接続されていない場合、電流値を読み取れず正常に動作しませんので、コネクタを確実に接続してください。
- ・電気機器によっては、IFUと電気機器の間にオプションパーツが必要な場合があります。詳細は各電気機器メーカー様にお問い合わせください。

施工方法

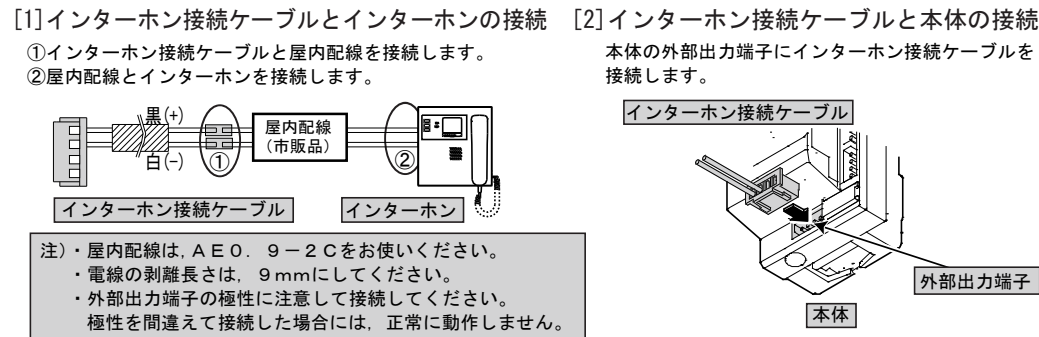
1 本体の取付



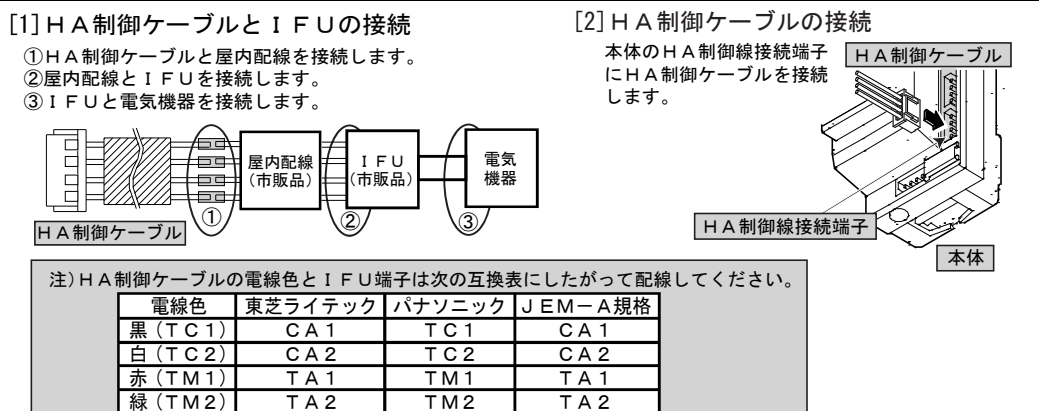
注意

- 必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。
- 母線カバーは取り外すことができません。無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。
- AC100V専用です。AC200Vを印加すると本体が故障します。

2 本体とインターホンの接続



3 本体と電気機器の接続（電気機器を接続しない場合、この作業は行いません）

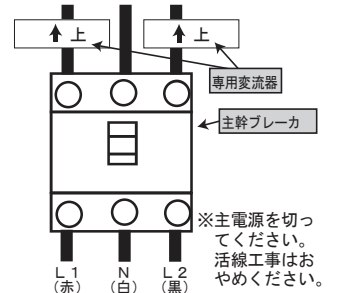


4 初期設定

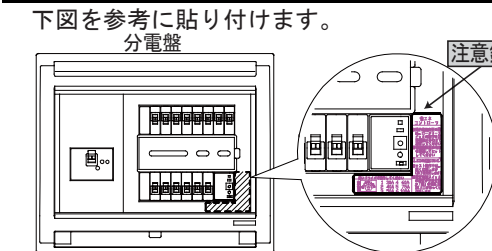
「設定電流値」と「電流制限器あり・なし」を契約電流値に合わせて設定します。

5 専用変流器の取付

- 専用変流器の取付
- ①専用変流器を主幹ブレーカ1次側のL1側とL2側に取り付けてください。
※専用変流器には方向性があります。取り付ける際には、変流器の「矢印」が上になるように取り付けてください。
 - ②本体と専用変流器の変流器信号線コネクタを接続します。



6 注意銘板の貼付



7 接続確認について

- [1] 変流器の接続確認について
- 施工後は必ず変流器の接続確認を行ってください。
- 変流器接続確認方法
 - ①ドライヤーなどの電気使用量の大きい電気機器の電源を入れます。
 - ②インターホンの使用電流表示が変化することを確認してください。
 - [2] テスト動作による接続確認
- テスト動作を行うことで、電気機器及びインターホンの接続確認を行うことができます。
- テスト動作起動方法
 - ①本体に接続された電気機器のスイッチをすべてONにします。
 - ②「電流制限器あり・なしスイッチ」を切り替えて、3秒以内に元の位置に戻すとテスト動作を開始します。
 - テスト動作内容

【本体と電気機器の接続確認】

 - ①CH1→CH2→CH3→CH4の順に電気機器を自動的にOFFした後に、CH4→CH3→CH2→CH1の順に電気機器を自動的にONします。

【本体とインターホンの接続確認】

 - ②インターホンから警報音を出力します。（音量スイッチが「切」の場合、警報音は出力しません）
 - ③テスト動作中は、LEDが次の状態になります。
 - 電源LED (本体)
 - ・点滅 (0.2秒間隔)
- 注) 電気機器のスイッチがONされた状態でないと、電気機器の接続確認は実施されません。
・テスト動作が正常に動作しない場合は、誤配線の可能性があります。配線の確認を行ってください。

■本体の設定・接続について

- HA制御線接続端子に接続できる電気機器は日本電機工業規格JEM1427「ルームエアコンHA端子」に適合したJEMA標準HA端子-Aまたは「JEM-A」の表示を有する電気機器のみ使用できます。接続方法については、電気機器メーカー様の説明書（ない場合は電気機器メーカー様にお問い合わせください）や分電盤の説明書を必ず確認してください。
- 本体の設定電流値と契約電流値が一致するように設定してください。設定電流値が契約電流値と異なる場合、使用電流を正確に読み取れず、正常に動作しません。
- スマートメーターの電流制限機能を使用する場合は、「電流制限器あり・なしスイッチ」を「あり」に設定してください。
- 契約電流値を変更した場合は、必ず設定電流値と契約電流値が一致するように再設定してください。

施工店名

TEL ()
施工年月日 年 月 日